

富士山を語る

～富士山調査の成果とこれから～

山梨県富士山総合学術調査研究の4年間の成果をわかりやすく解説し、今後の山梨県の富士山調査に関わる識者が富士山のこれからについて語り合います。

山梨県は平成20年度以来8年間にわたって富士山総合学術調査研究を続けてきました。平成28年6月には山梨県立富士山世界遺産センターがオープンし、富士山の価値や最新の調査成果を発信してまいります。



山梨県立富士山世界遺産センターの外観

日時 平成28年 **2月20日(土)**
13:30～16:30

場所 **山梨県総合教育センター
大研修室(県立博物館隣り)**
山梨県笛吹市御坂町成田1456

対象 どなたでもご参加いただけます



参加無料・申し込み不要

プログラム

第1部 富士山総合学術調査研究成果報告 13:30～15:10

報告①「巡礼路をさぐる」堀内 眞(山梨県立博物館)
報告②「御中道と信仰」堀内 亨(県立ひばりが丘高校教諭)
報告③「山小屋の民俗」松田香代子(愛知大学非常勤講師)

**第2部 パネルディスカッション
「富士山のこれからを語る」
15:20～16:30**

パネラー



藤井 敏嗣

山梨県富士山科学研究所長
1946年福岡県生まれ。東京大学大学院理学系研究科地質学専攻博士課程修了、理学博士(東京大学)。東京大学地質研究所長および東京大学理事・副学長などを経て、現職。東大名義教授、火山噴火予知連絡会会長、NPO法人 環境防災総合政策研究機構 環境防災研究所長。



新津 健

元山梨県埋蔵文化財センター所長
1949年南アルプス市生まれ。上智大学大学院修士課程修了(史学専攻)。山梨県立考古博物館副館長・山梨県埋蔵文化財センター所長などを歴任。富士山総合学術調査研究委員会に携わり、現在は世界遺産富士山を紹介する展示解説員などを務めている。



平川 南

山梨県立博物館長
1943年山梨県生まれ。山梨大学文学部卒業。社会学博士(東京大学)。環境省多岐野総合調査研究所、山梨県立民俗博物館館長などを歴任。現職。山梨県立総合政策研究所 環境防災政策研究センター所長。山梨県立民俗博物館名誉館長。



コーディネーター

依田 智子
(山梨放送アナウンサー)